

# 『第183回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2021年 1～3月期の実績 2021年 4～6月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	109社
(業種別内訳)	製 造 業 31社	卸 売 業	9社
	小 売 業 26社	サ ー ビ ス 業	11社
	建 設 業 21社	不 動 産 業	11社
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

## ☆ 目次 ☆

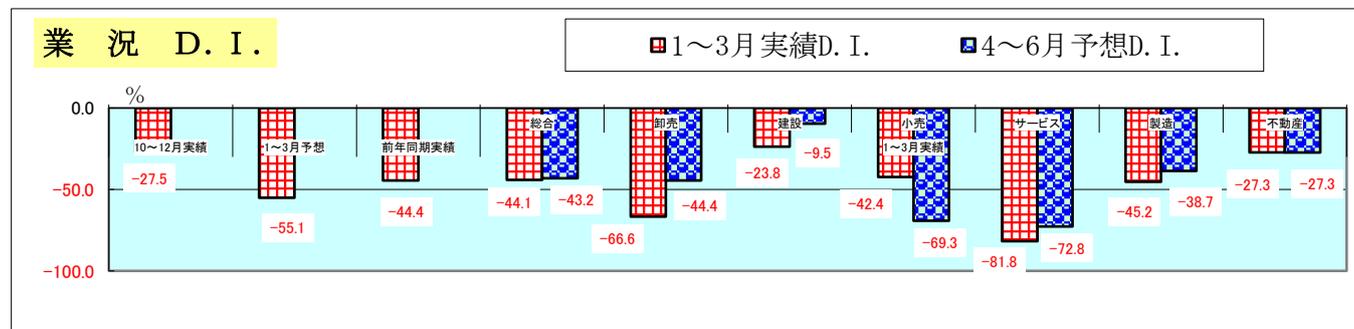
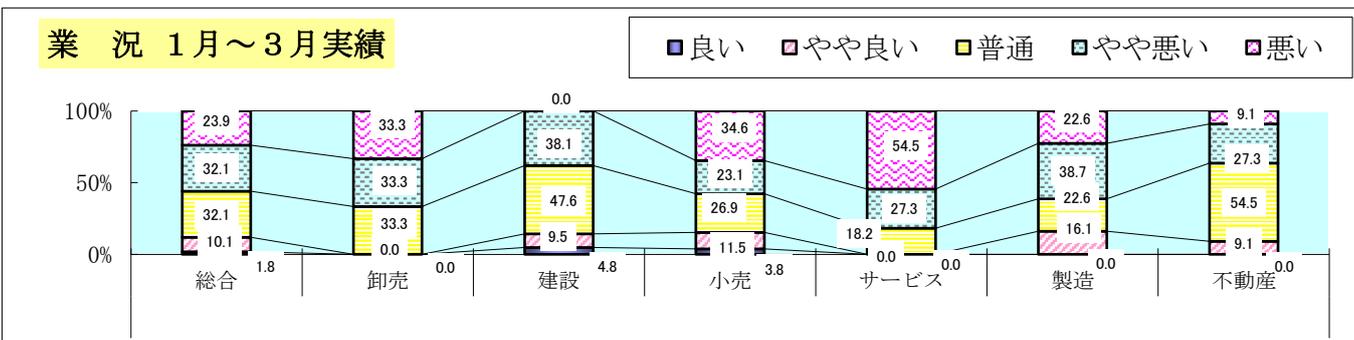
1	概況	P. 1
2(1)	前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2)	前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3)	前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4)	前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5)	前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6)	前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7)	前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1)	前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2)	前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3)	前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1)	前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2)	前期に比べた人手の動き	P. 13
5	前期に比べた借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1)	前期に比べた設備投資の動き	P. 15
6(2)	前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
	経営上の問題点	P. 17
	当面の重点経営施策	P. 18
	特別調査 … 「新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常态への対応について」①	P. 19
	特別調査 … 「新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常态への対応について」②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



# 1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							-27.5	
1～3月予想							-55.1	
前年同期実績							-44.4	
1～3月実績	総合	1.8	10.1	32.1	32.1	23.9	-44.1	-43.2
	卸売	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	-66.6	-44.4
	建設	4.8	9.5	47.6	38.1	0.0	-23.8	-9.5
	小売	3.8	11.5	26.9	23.1	34.6	-42.4	-69.3
	サービス	0.0	0.0	18.2	27.3	54.5	-81.8	-72.8
	製造	0.0	16.1	22.6	38.7	22.6	-45.2	-38.7
	不動産	0.0	9.1	54.5	27.3	9.1	-27.3	-27.3



## ○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’21年1～3月期の業況判断D. I. は△44.1で、’20年10～12月期（前期）と比べ16.6ポイント悪化し、前年同期比では0.3ポイントの良化を示しました。また、次期についても△43.2と今期より0.9ポイント良化の予想となりました。

今期の売上額判断D. I. △56.8は、前期実績D. I. △22.1から34.7ポイント悪化し、前回調査における今期の予想D. I. △62.5からは5.7ポイントの良化となりました。

## ○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ）

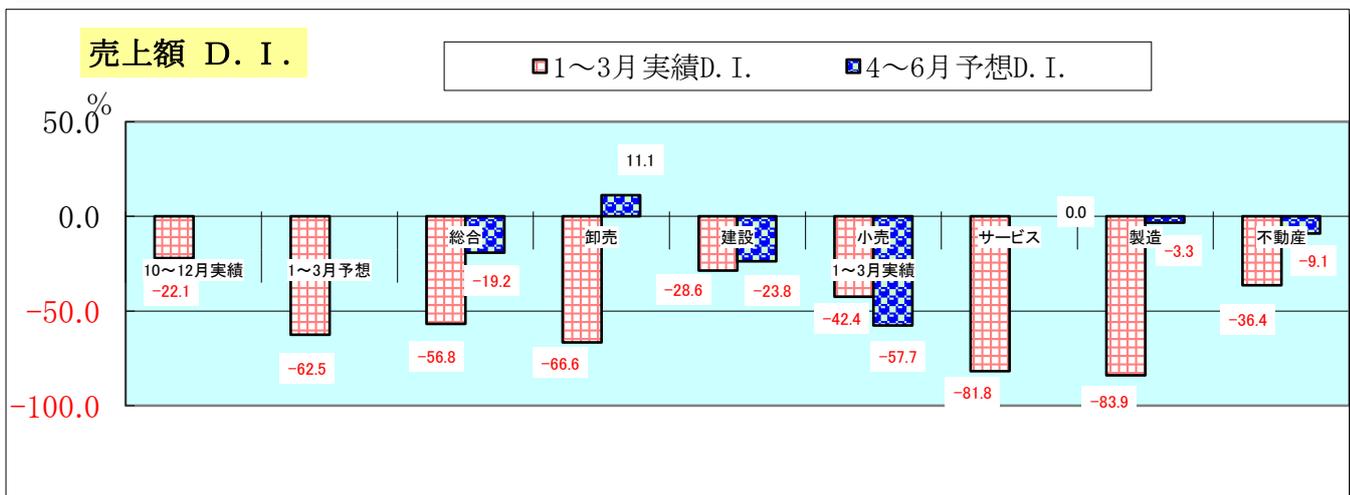
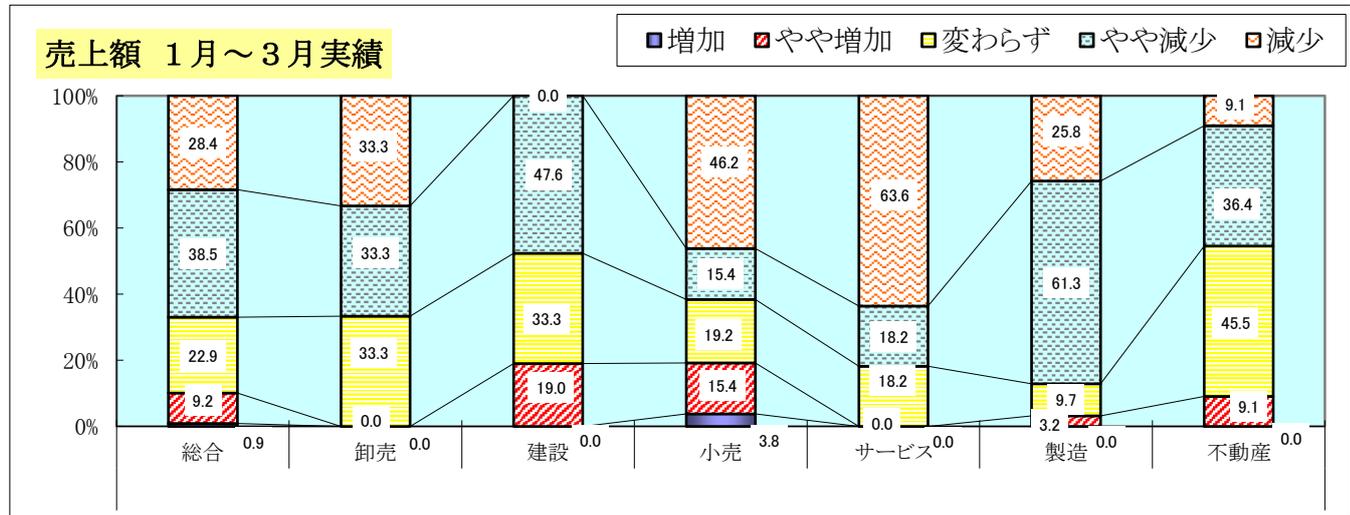
’21年1～3月期（今期）の業況判断D. I. は△37.1、前期比0.9ポイントの小幅悪化と、依然として厳しい水準のままほぼ横ばいとなった。

収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△41.7と前期比5.3ポイント改善、同収益判断D. I. は△40.1と同4.8ポイント改善した。販売価格判断D. I. は△5.2と前期比横ばいだった。人手過不足判断D. I. は△12.1と人手不足感が三四半期ぶりに緩和した。設備投資実施企業割合は0.4ポイント上昇して19.3%となった。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、製造業と不動産業を除く4業種で、地域別では全11地域中7地域で、それぞれ悪化した。

’21年4～6月期（来期）の予想業況判断D. I. は△35.3、今期実績比1.8ポイントの小幅改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、建設業と不動産業を除く4業種で、地域別には全11地域中8地域で、それぞれ改善見通しにある。

## 2. 前期に比べた動き (1) 売上額の動き

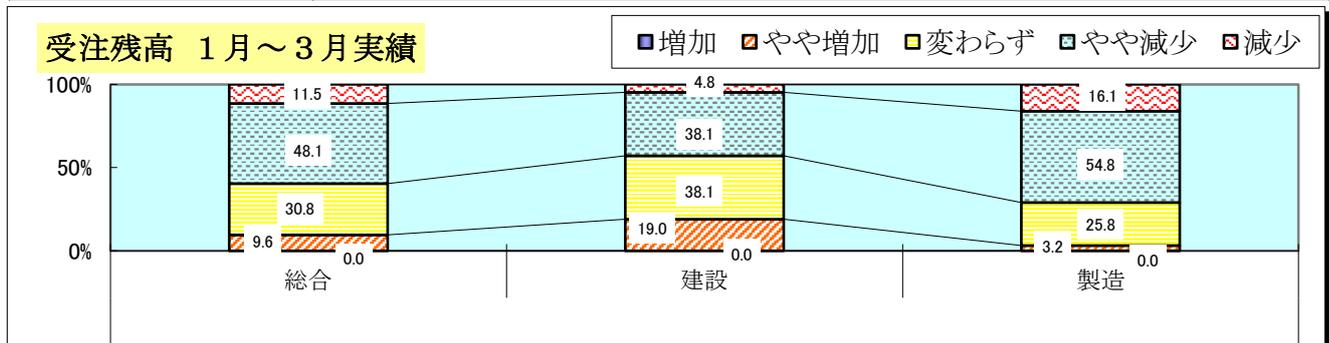
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-22.1	
1~3月予想							-62.5	
1~3月実績	総合	0.9	9.2	22.9	38.5	28.4	-56.8	-19.2
	卸売	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	-66.6	11.1
	建設	0.0	19.0	33.3	47.6	0.0	-28.6	-23.8
	小売	3.8	15.4	19.2	15.4	46.2	-42.4	-57.7
	サービス	0.0	0.0	18.2	18.2	63.6	-81.8	0.0
	製造	0.0	3.2	9.7	61.3	25.8	-83.9	-3.3
	不動産	0.0	9.1	45.5	36.4	9.1	-36.4	-9.1



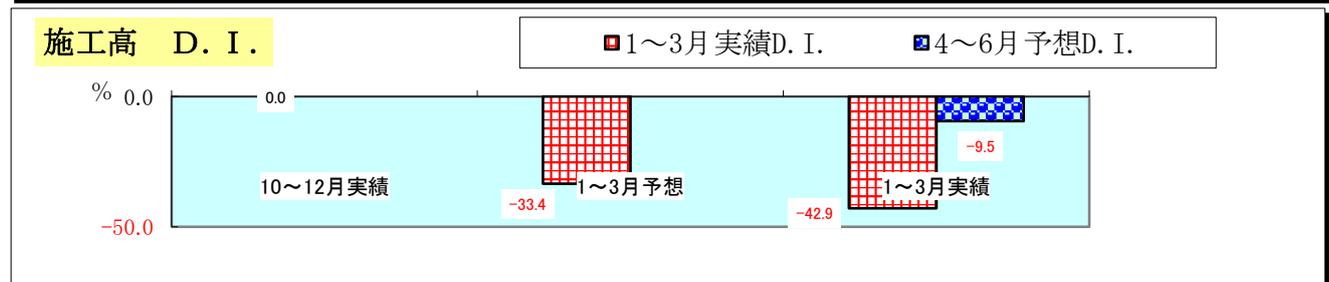
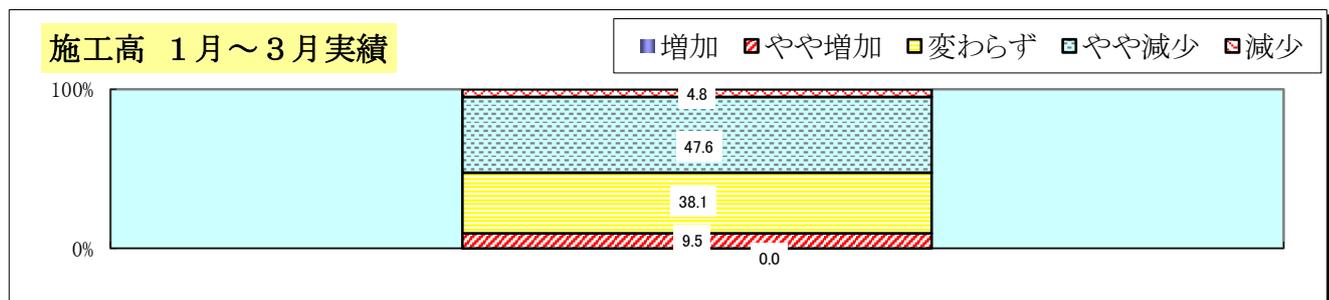
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の10.1%、「減少」「やや減少」した企業は66.9%を示し、今期D. I. は△56.8となりました。
- 今期の売上額判断D. I. △56.8は、前期実績D. I. △22.1から34.7ポイント悪化し、前回調査における今期の予想D. I. △62.5からは5.7ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、全ての業種で売上額の減少を示している。殊に、製造業で△83.9、サービス業で△81.8、卸売業で△66.6と大幅減少を示しており、次いで、小売業で△42.4、不動産業で△36.4、建設業で△28.6ポイントとなりました。
- 4~6月期の予想D. I. は△19.2で、1~3月実績より37.6ポイントの大幅な売上額増加予想となりました。  
業種別での今期実績対比は、サービス業で81.8、製造業で80.6、卸売業で77.7、不動産業で27.3、建設業で4.8ポイントの増加予想となり、小売業のみが15.3ポイントの減少予想となりました。

## (2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-23.1	
1~3月予想							-61.6	
1~3月実績	総合	0.0	9.6	30.8	48.1	11.5	-50.0	-17.3
	建設	0.0	19.0	38.1	38.1	4.8	-23.9	-28.6
	製造	0.0	3.2	25.8	54.8	16.1	-67.7	-9.6



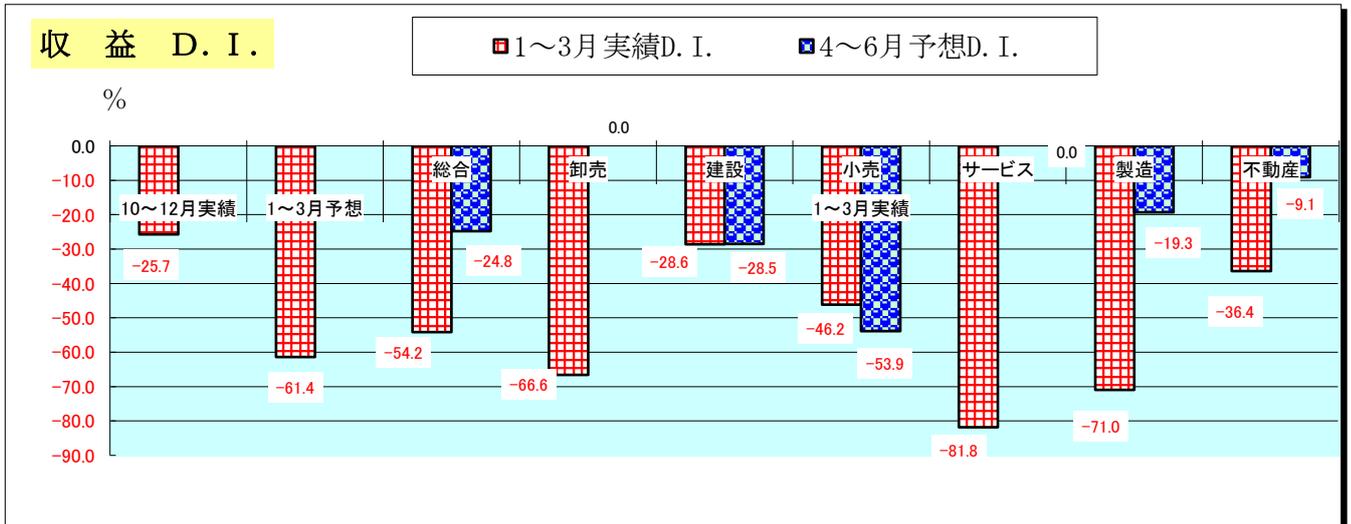
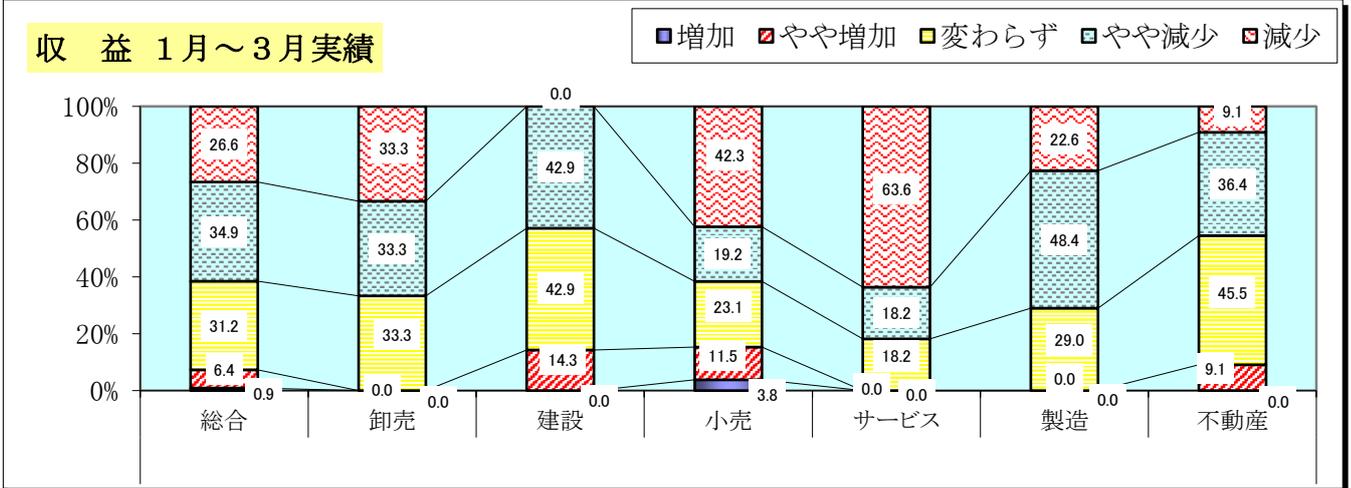
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							0.0	
1~3月予想							-33.4	
1~3月実績		0.0	9.5	38.1	47.6	4.8	-42.9	-9.5



- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は△50.0で、前期実績のD. I. △23.1に対し26.9ポイント下回った。前期調査における今期予想D. I. △61.6に対しては11.6ポイント上回りました。また、4~6月期の受注残予想D. I. は△17.3で、今期実績対比32.7ポイントの増加を予想しました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は△42.9となり、前期実績D. I. 0.0に対し42.9ポイント下回りました。前回調査における今期予想D. I. △33.4に対しても9.5ポイント下回りました。また、4~6月期の施工高予想D. I. は△9.5で、今期実績対比33.4ポイントの増加を予想しました。

### (3) 収益の動き

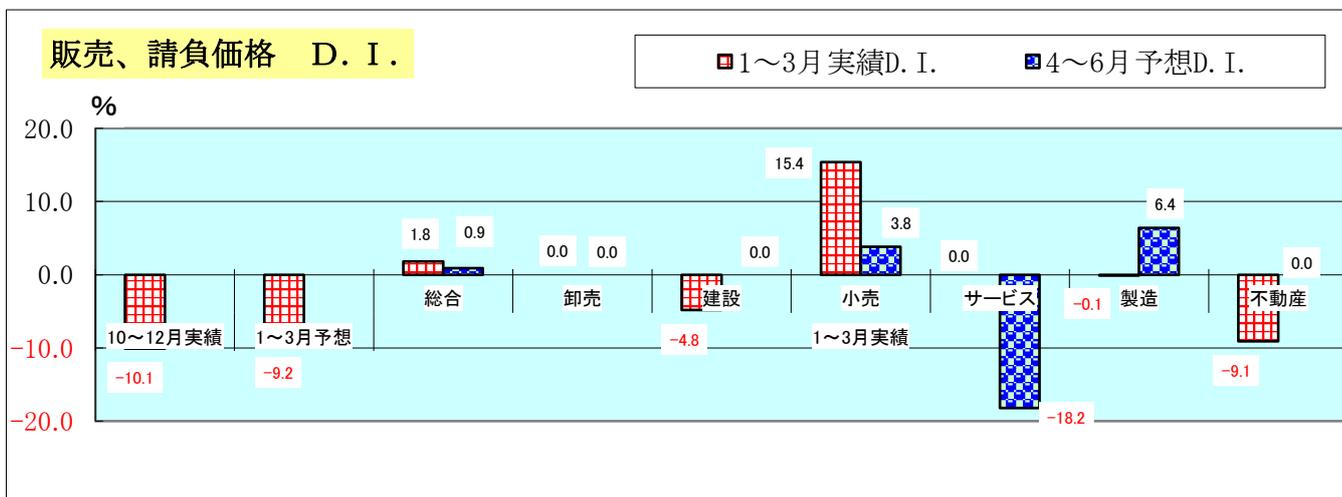
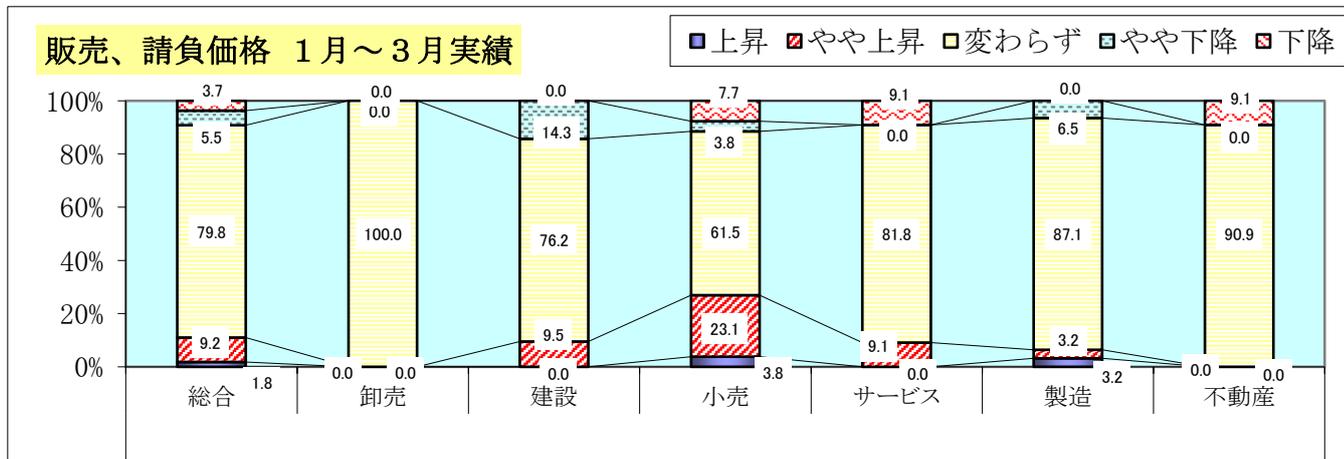
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-25.7	
1~3月予想							-61.4	
1~3月実績	総合	0.9	6.4	31.2	34.9	26.6	-54.2	-24.8
	卸売	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	-66.6	0.0
	建設	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	-28.6	-28.5
	小売	3.8	11.5	23.1	19.2	42.3	-46.2	-53.9
	サービス	0.0	0.0	18.2	18.2	63.6	-81.8	0.0
	製造	0.0	0.0	29.0	48.4	22.6	-71.0	-19.3
	不動産	0.0	9.1	45.5	36.4	9.1	-36.4	-9.1



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は7.3%、「やや減少」「減少」した企業は61.5%で、今期D. I. は△54.2となりました。
- 今期の収益実績D. I. △54.2は、前期実績D. I. △25.7から28.5ポイント下回り、前回調査における今期予想D. I. △61.4に対しては7.2ポイント上回りとなりました。
- 業種別の今期D. I. は、全ての業種で減少となりました。殊にサービス業で△81.8、製造業で△71.0、卸売業で△66.6ポイントと大幅減少となり、次いで、小売業で△46.2、不動産業で△36.4、建設業で△28.6ポイントの減少となりました。
- 4~6月期の予想D. I. は△24.8で、1~3月実績より29.4ポイントの良化と予想しています。業種別での今期実績対比は、サービス業で81.8、卸売業で66.6、製造業で51.7、不動産業で27.3、建設業で0.1ポイントの増収予想となり、小売業のみが7.7ポイントの減収予想となりました。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

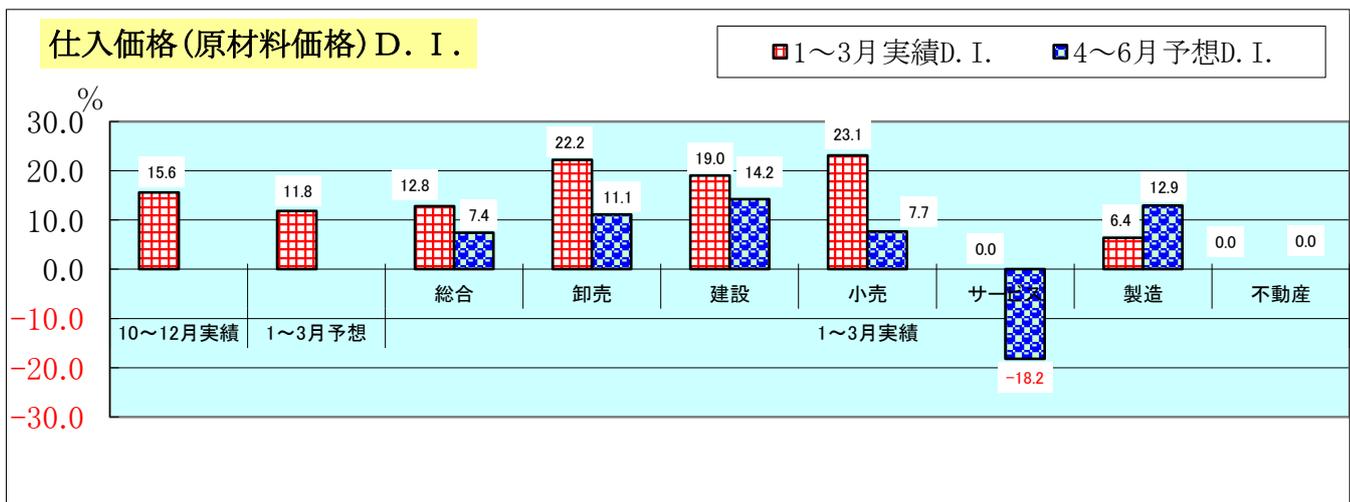
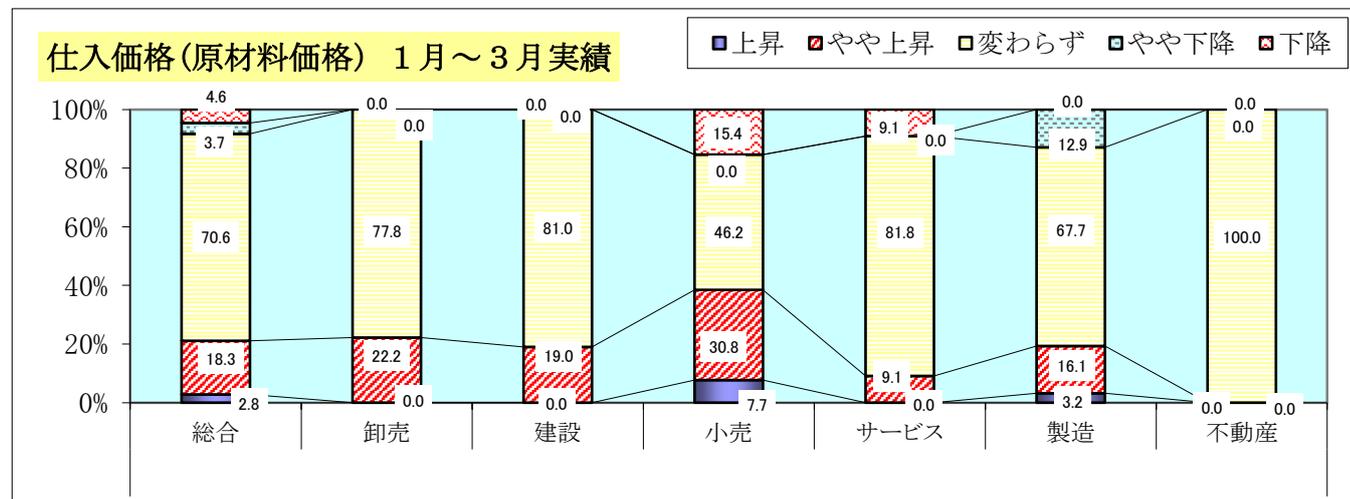
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							-10.1	
1～3月予想							-9.2	
1～3月実績	総合	1.8	9.2	79.8	5.5	3.7	1.8	0.9
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	9.5	76.2	14.3	0.0	-4.8	0.0
	小売	3.8	23.1	61.5	3.8	7.7	15.4	3.8
	サービス	0.0	9.1	81.8	0.0	9.1	0.0	-18.2
	製造	3.2	3.2	87.1	6.5	0.0	-0.1	6.4
不動産	0.0	0.0	90.9	0.0	9.1	-9.1	0.0	



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が11.0%、「やや下降」「下降」と回答している企業が9.2%で、今期D. I. は1.8となりました。
- 今期の販売価格実績D. I. 1.8は、前期実績D. I. △10.1から11.9ポイント上回り、前回調査における今期予想D. I. △9.2ポイントからも11.0ポイント上回りとなりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業、サービス業は均衡の0.0と変わらず、小売業で15.4ポイントの上昇を示し、不動産業で9.1、建設業で4.8、製造業で0.1ポイントの下降を示しました。
- 4～6月期の予想D. I. は0.9で、1～3月期実績より0.9ポイントの下降と予想しています。業種別での今期実績対比は、不動産業で9.1、製造業で6.5、建設業で4.8ポイントの価格上昇予想。一方、サービス業で18.2、小売業で11.6ポイントの価格下降予想となりました。また、卸売業は前期実績と同数値で変わらずの予想となりました。

## (5) 仕入価格（原材料価格）の動き

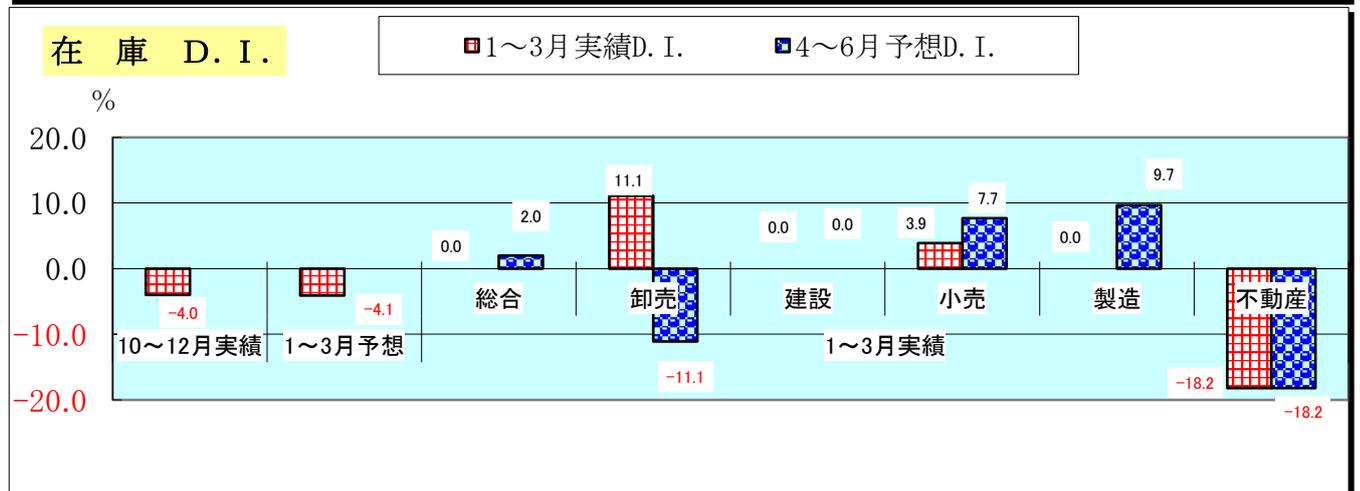
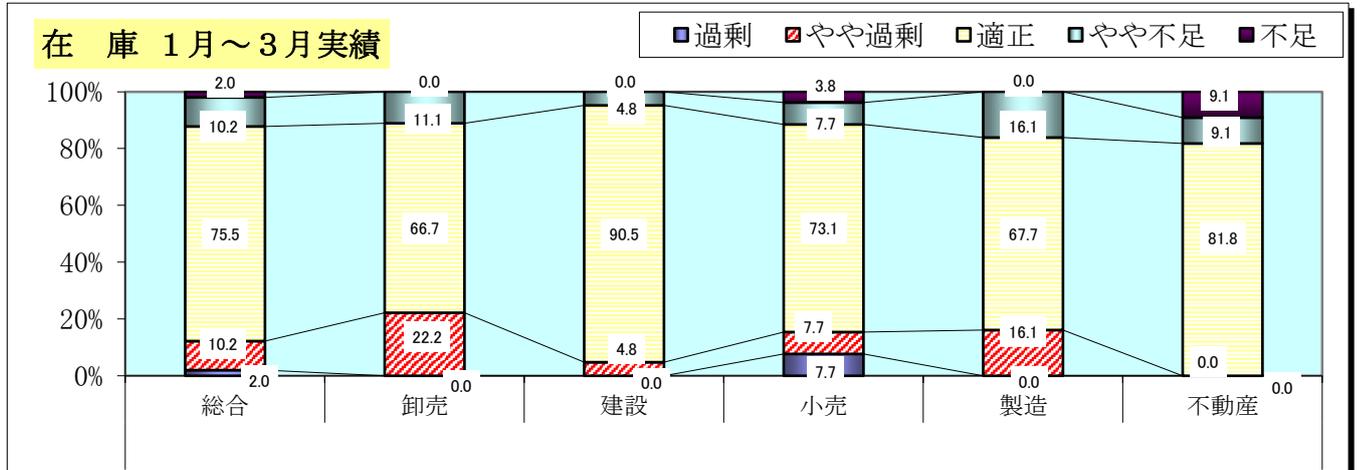
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							15.6	
1～3月予想							11.8	
1～3月実績	総合	2.8	18.3	70.6	3.7	4.6	12.8	7.4
	卸売	0.0	22.2	77.8	0.0	0.0	22.2	11.1
	建設	0.0	19.0	81.0	0.0	0.0	19.0	14.2
	小売	7.7	30.8	46.2	0.0	15.4	23.1	7.7
	サービス	0.0	9.1	81.8	0.0	9.1	0.0	-18.2
	製造	3.2	16.1	67.7	12.9	0.0	6.4	12.9
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が21.1%、「やや下降」「下降」と回答している企業が8.3%で、今期D. I. は12.8となりました。
- 今期の仕入価格実績D. I. 12.8は、前期実績D. I. 15.6から2.8ポイント下降し、前回調査における今期予想D. I. 11.8からは1.0ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業と不動産業が0.0と均衡を示し、他業種は、小売業で23.1、卸売業で22.2、建設業で19.0、製造業で6.4ポイント価格上昇を示しました。
- 4～6月期の予想D. I. は7.4で、1～3月期実績より5.4ポイントの下降を予想しました。業種別での今期実績対比は、製造業で6.5ポイントの上昇予想となりました。一方、サービス業で18.2、小売業で15.4、卸売業で11.1、建設業で4.8ポイントの下降予想となりました。また、不動産業では今期実績と同数値で変わらずの予想となりました。

## (6) 在庫の動き

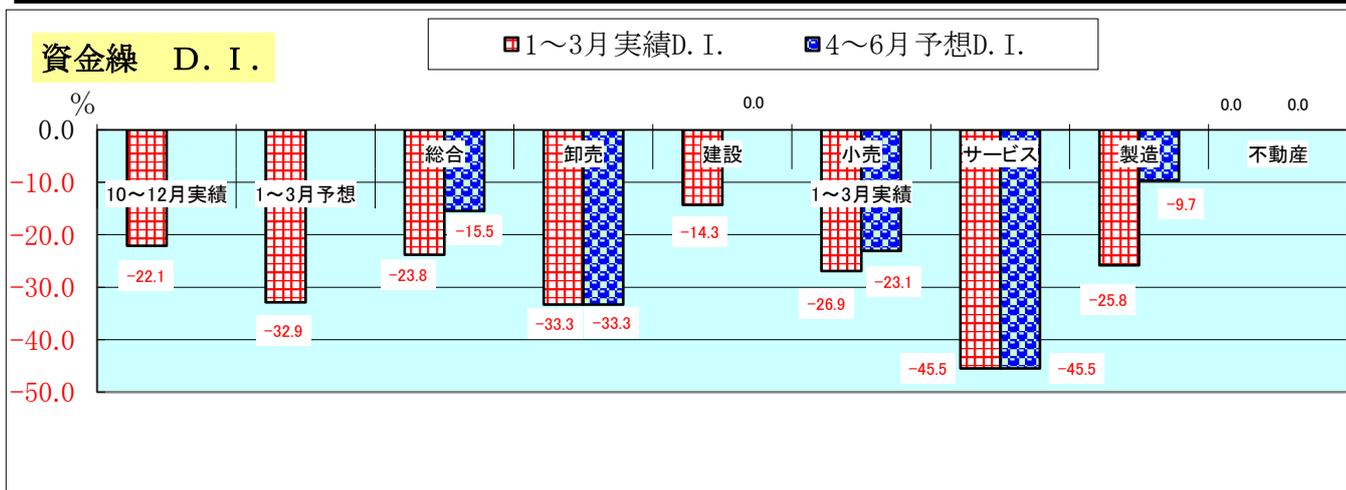
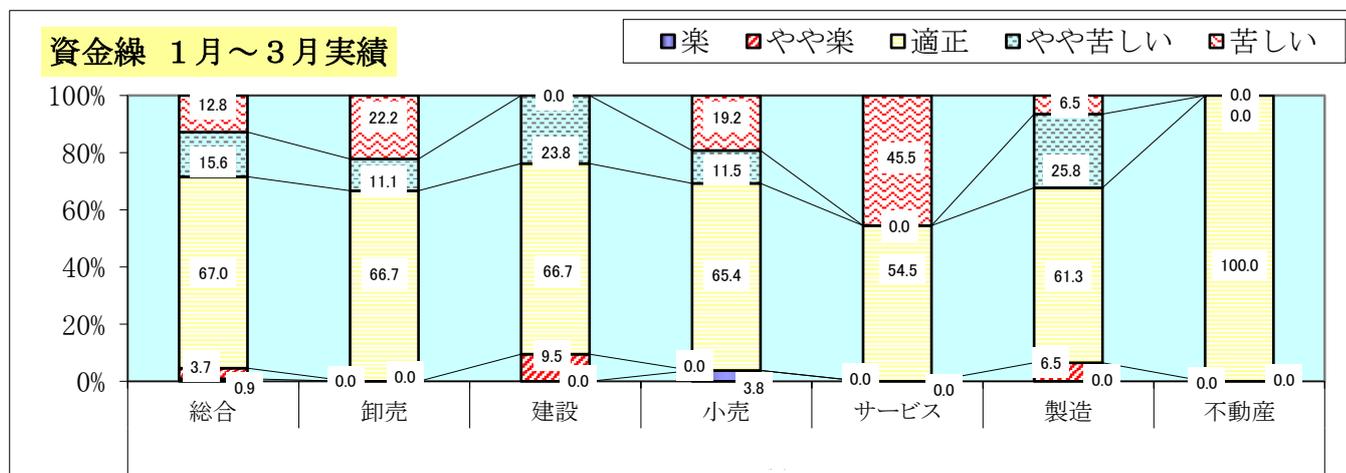
在庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-4.0	
1~3月予想							-4.1	
1~3月実績	総合	2.0	10.2	75.5	10.2	2.0	0.0	2.0
	卸売	0.0	22.2	66.7	11.1	0.0	11.1	-11.1
	建設	0.0	4.8	90.5	4.8	0.0	0.0	0.0
	小売	7.7	7.7	73.1	7.7	3.8	3.9	7.7
	製造	0.0	16.1	67.7	16.1	0.0	0.0	9.7
	不動産	0.0	0.0	81.8	9.1	9.1	-18.2	-18.2



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が12.2%、「やや不足」「不足」と回答している企業が12.2%で、今期D. I. は0.0となりました。
- 今期の在庫実績D. I. 0.0は、前期実績D. I.  $\Delta$ 4.0から4.0ポイントの過剰傾向となった。前回における今期予想D. I.  $\Delta$ 4.1に対しても4.1ポイントの過剰となりました。
- 業種別の今期D. I. は、建設業と製造業共に0.0の均衡となりました。他は、卸売業で11.1、小売業で3.9ポイントの過剰となりました。一方、不動産業で18.2ポイントの在庫不足となりました。
- 4~6月期の予想D. I. は2.0で、1~3月期実績より2.0ポイントの過剰傾向を予想しています。業種別での今期実績対比は、製造業で9.7、小売業で3.8ポイントの過剰予想となりました。一方、卸売業で22.2ポイントの不足予想となりました。建設業では今期同様で適正範囲内であり、また、不動産業では今期同様の不足を予想しました。

## (7) 資金繰りの動き

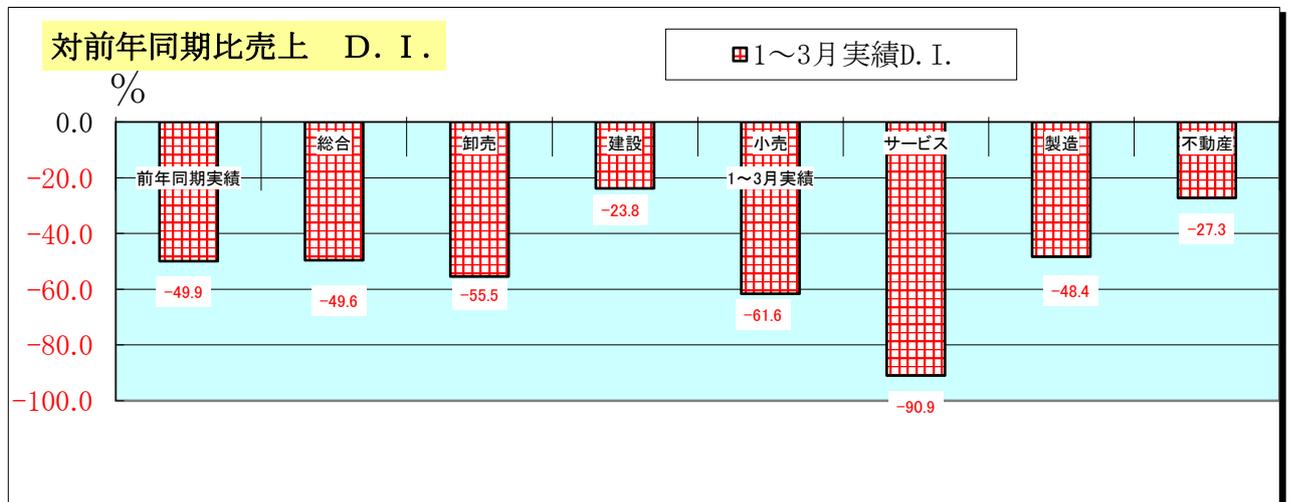
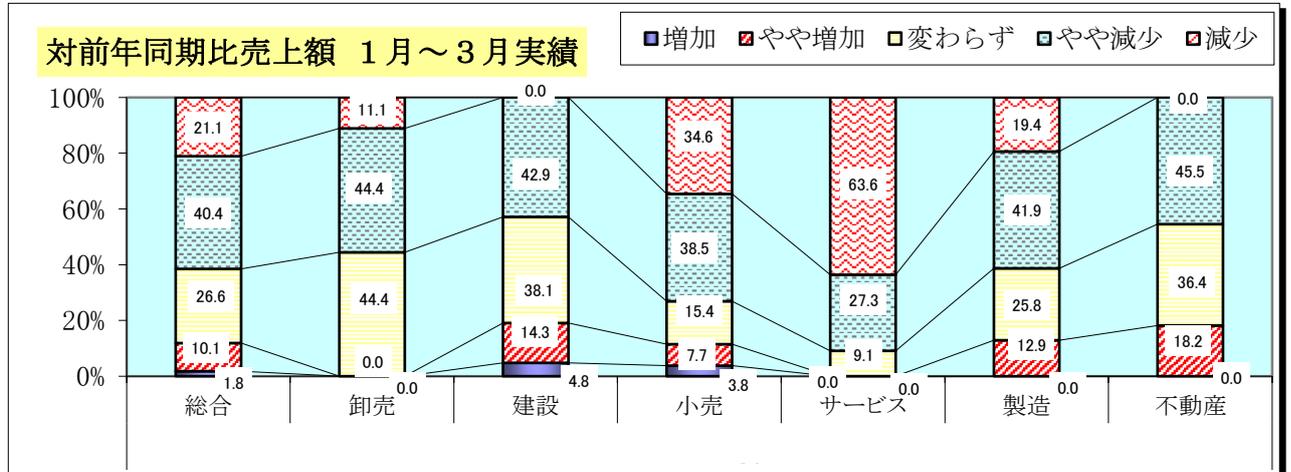
資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-22.1	
1~3月予想							-32.9	
1~3月実績	総合	0.9	3.7	67.0	15.6	12.8	-23.8	-15.5
	卸売	0.0	0.0	66.7	11.1	22.2	-33.3	-33.3
	建設	0.0	9.5	66.7	23.8	0.0	-14.3	0.0
	小売	3.8	0.0	65.4	11.5	19.2	-26.9	-23.1
	サービス	0.0	0.0	54.5	0.0	45.5	-45.5	-45.5
	製造	0.0	6.5	61.3	25.8	6.5	-25.8	-9.7
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が4.6%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が28.4%となり、今期D. I.は△23.8となりました。
- 今期の資金繰り実績D. I. △23.8は、前期実績D. I. △22.1から1.7ポイント悪化、前回調査における今期予想D. I. △32.9からは9.1ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I.は、不動産業は0.0ポイントで適正となっている。他の業種は資金繰りが苦しい状況を示し、殊にサービス業で△45.5、卸売業で△33.3ポイントと厳しい状況を示しました。
- 4~6月期の予想D. I.は△15.5で、1~3月期実績より8.3ポイント良化予想となりました。業種別での今期実績対比は、製造業で16.1、建設業で14.3、小売業で3.8ポイントの良化予想となりました。一方、サービス業で△45.5、卸売業で△33.3ポイントと前期同様水準の予想となりました。また、不動産業は前期同様の適正範囲の予想となりました。

### 3. 対前年同期に比べた動き (1) 売上

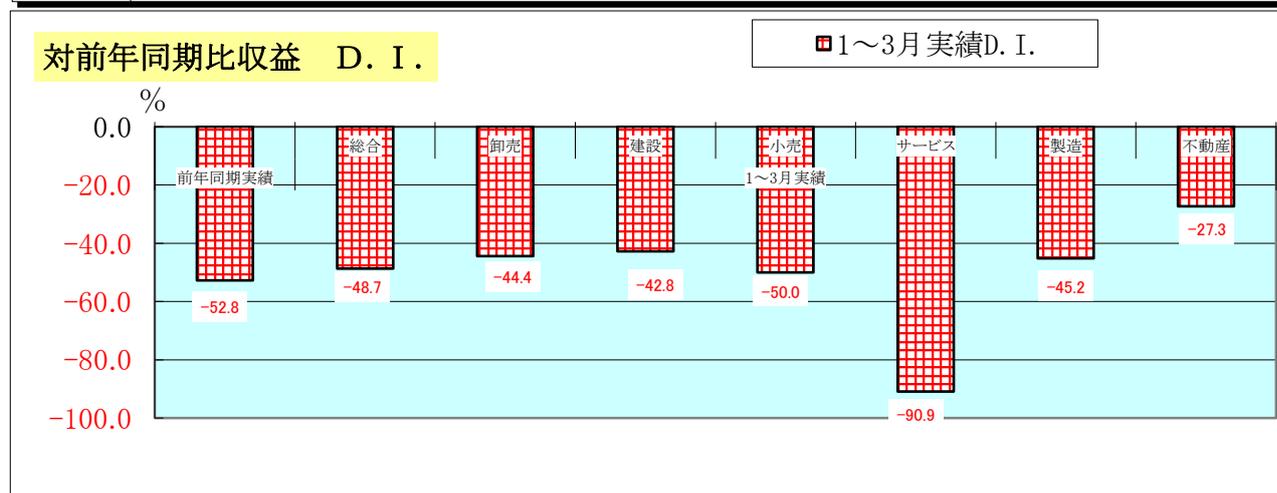
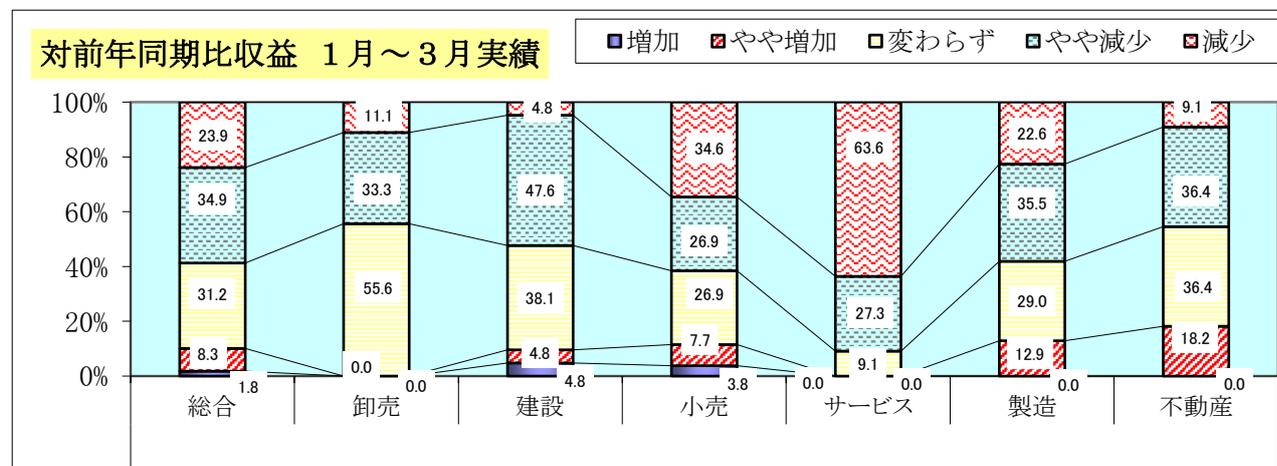
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I.
前年同期実績							-49.9
1～3月実績	総合	1.8	10.1	26.6	40.4	21.1	-49.6
	卸売	0.0	0.0	44.4	44.4	11.1	-55.5
	建設	4.8	14.3	38.1	42.9	0.0	-23.8
	小売	3.8	7.7	15.4	38.5	34.6	-61.6
	サービス	0.0	0.0	9.1	27.3	63.6	-90.9
	製造	0.0	12.9	25.8	41.9	19.4	-48.4
	不動産	0.0	18.2	36.4	45.5	0.0	-27.3



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が11.9%、「やや減少」「減少」と回答している企業が61.5%で、今期D. I. は△49.6となりました。
- 今期実績D. I. △49.6は、前年同期実績D. I. △49.9に対し0.3ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で△90.9、小売業で△61.6、卸売業で△55.5、製造業で△48.4、不動産業で△27.3、建設業で△23.8ポイントと全業種で減少となりました。

## (2) 収益

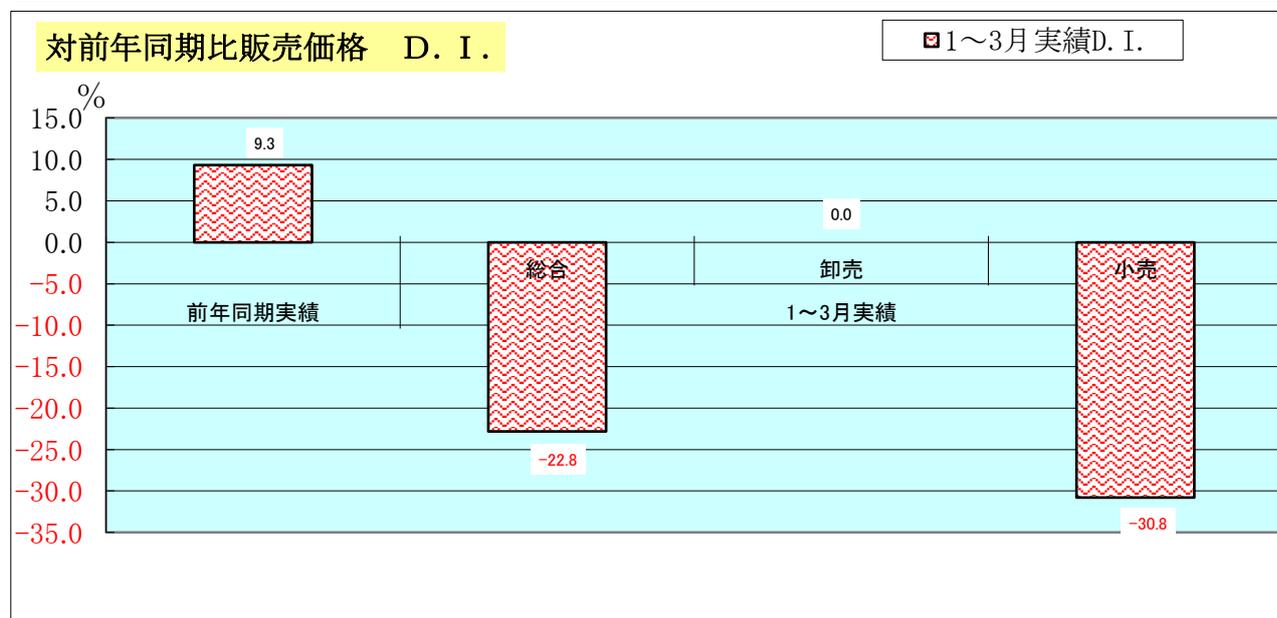
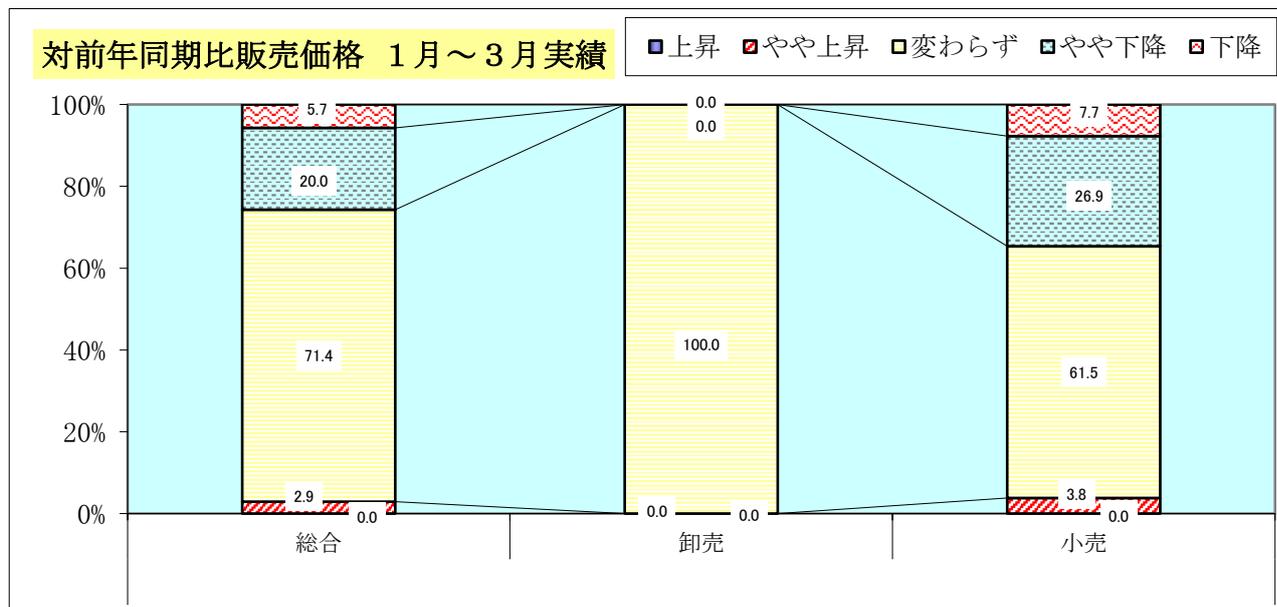
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I.
前年同期実績							-52.8
1～3月実績	総合	1.8	8.3	31.2	34.9	23.9	-48.7
	卸売	0.0	0.0	55.6	33.3	11.1	-44.4
	建設	4.8	4.8	38.1	47.6	4.8	-42.8
	小売	3.8	7.7	26.9	26.9	34.6	-50.0
	サービス	0.0	0.0	9.1	27.3	63.6	-90.9
	製造	0.0	12.9	29.0	35.5	22.6	-45.2
	不動産	0.0	18.2	36.4	36.4	9.1	-27.3



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が10.1%、「やや減少」「減少」と回答している企業が58.8%で、今期D. I. は△48.7となりました。
- 今期実績D. I. △48.7は、前年同期実績D. I. △52.8に対し、4.1ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で△90.9、小売業で△50.0、製造業で△45.2、卸売業で△44.4、建設業で△42.8、不動産業で△27.3ポイントと全業種で減収となりました。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1~3月実績D. I.
前年同期実績							9.3
1~3月実績	総合	0.0	2.9	71.4	20.0	5.7	-22.8
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	小売	0.0	3.8	61.5	26.9	7.7	-30.8

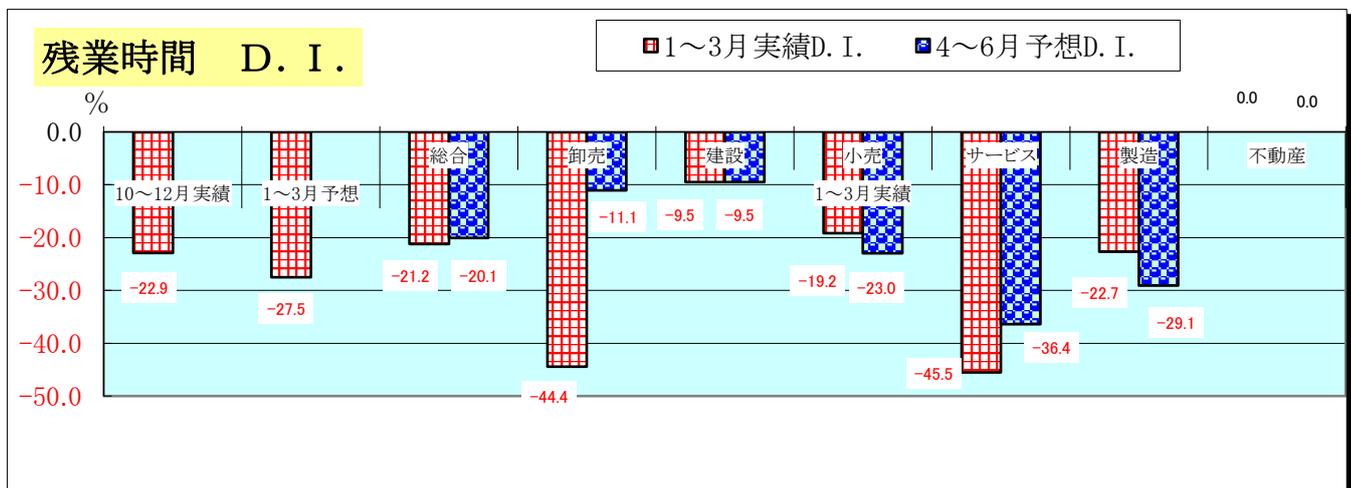
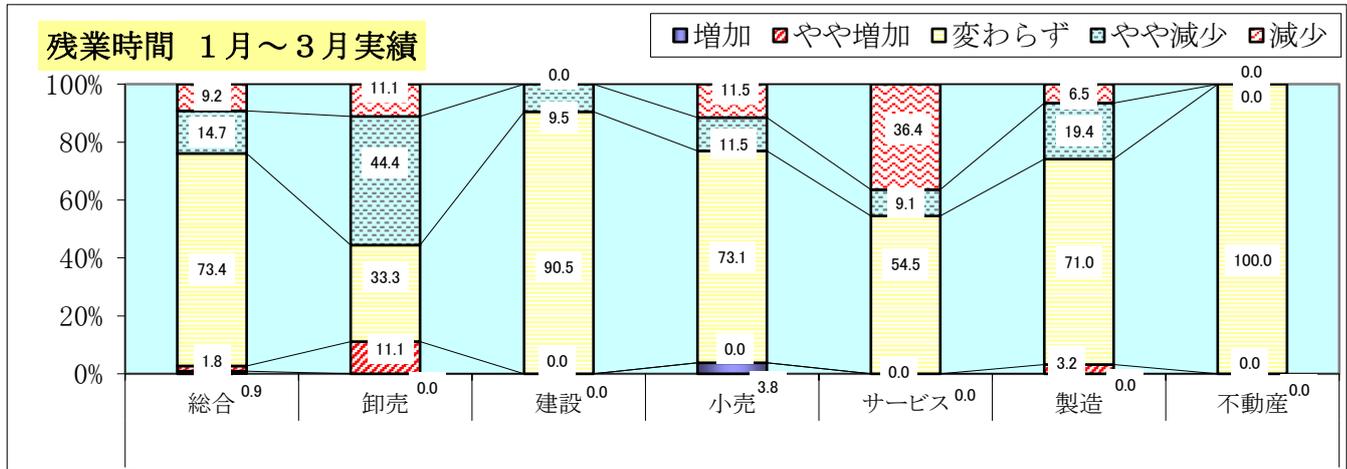


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が2.9%、「やや下降」「下降」と回答している企業が25.7%となり、今期D. I. は△22.8となりました。
- 今期実績D. I. △22.8は、前年同期実績D. I. 9.3に対し32.1ポイントの下降となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業で0.0、小売業で△30.8ポイントとなりました。

## 4. 雇用面の動き

### (1) 残業時間

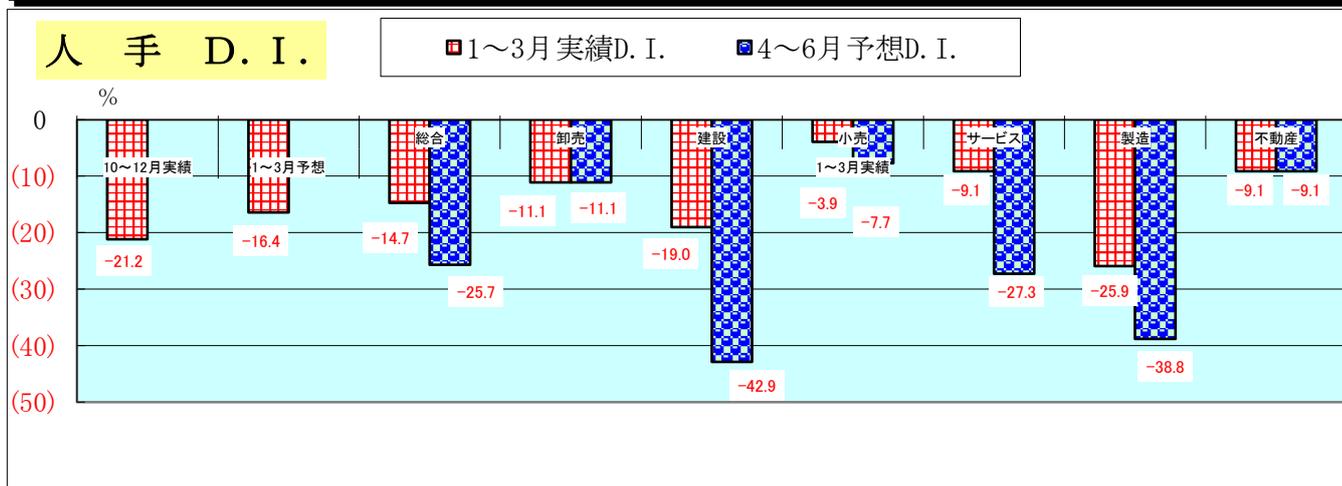
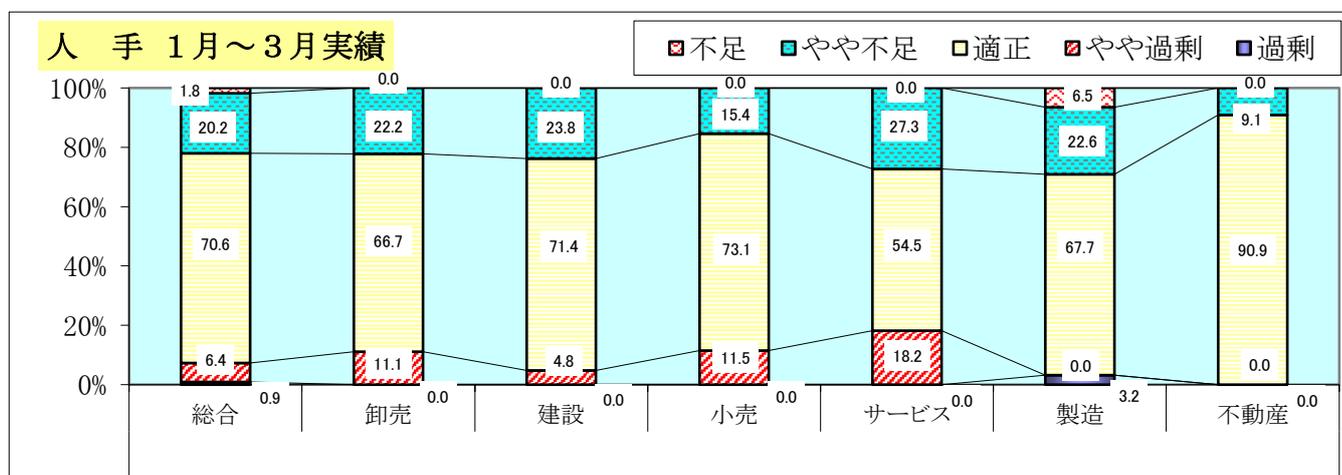
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							-22.9	
1～3月予想							-27.5	
1～3月実績	総合	0.9	1.8	73.4	14.7	9.2	-21.2	-20.1
	卸売	0.0	11.1	33.3	44.4	11.1	-44.4	-11.1
	建設	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	-9.5	-9.5
	小売	3.8	0.0	73.1	11.5	11.5	-19.2	-23.0
	サービス	0.0	0.0	54.5	9.1	36.4	-45.5	-36.4
	製造	0.0	3.2	71.0	19.4	6.5	-22.7	-29.1
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 今期の残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が2.7%、「やや減少」「減少」と回答している企業が23.9%で、今期D. I. は△21.2となりました。
- 今期実績D. I. △21.2は、前期実績D. I. △22.9に対し1.7ポイント残業時間の増加となりました。前回調査における今期予想D. I. △27.5に対しても6.3ポイントの残業時間の増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で△45.5、卸売業で△44.4、製造業で△22.7、小売業で△19.2、建設業で△9.5となりました。不動産業では0.0ポイントと変動はありませんでした。
- 4～6月期の予想D. I. は△20.1で、1～3月期実績より1.1ポイントの残業時間増加を予想しています。業種別での今期実績対比は、卸売業で33.3、サービス業で9.1ポイントの増加予想となりました。一方、製造業で6.4、小売業で3.8ポイントの減少予想となりました。建設業では今期実績同数値の残業時間減少を予想しています。また、不動産業では0.0ポイントと変動はありませんでした。

## (2) 人手

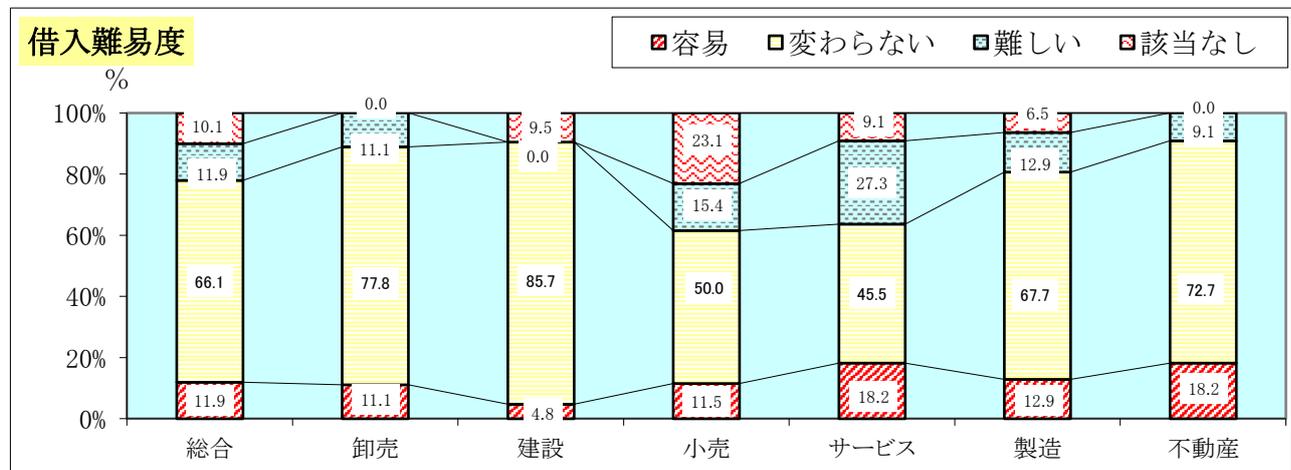
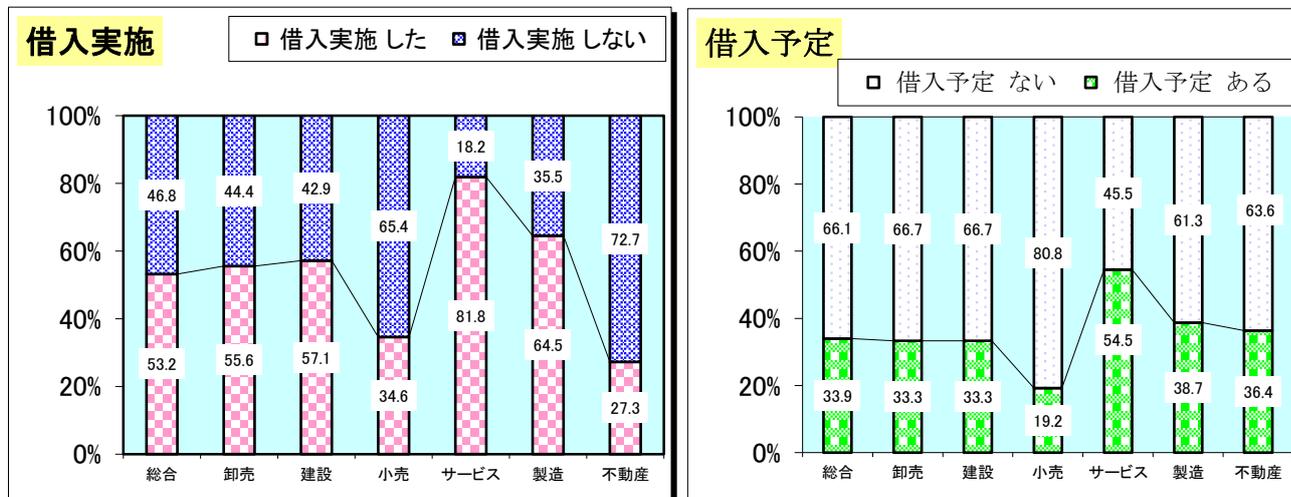
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-21.2	
1~3月予想							-16.4	
1~3月実績	総合	0.9	6.4	70.6	20.2	1.8	-14.7	-25.7
	卸売	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	-11.1	-11.1
	建設	0.0	4.8	71.4	23.8	0.0	-19.0	-42.9
	小売	0.0	11.5	73.1	15.4	0.0	-3.9	-7.7
	サービス	0.0	18.2	54.5	27.3	0.0	-9.1	-27.3
	製造	3.2	0.0	67.7	22.6	6.5	-25.9	-38.8
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が7.3%、「やや不足」「不足」と回答している企業が22.0%で、今期D. I. は△14.7となりました。
- 今期実績D. I. △14.7は前期実績D. I. △21.2から6.5ポイント人手不足解消となりました。前回調査における今期予想D. I. △16.4に対しても、1.7ポイントと若干の人手不足解消となりました。
- 業種別の今期D. I. は、製造業で△25.9、建設業で△19.0、卸売業で△11.1、サービス業・不動産業が共に△9.1、小売業で△3.9ポイントと全業種で人手不足を示しました。
- 4~6月期の予想D. I. は△25.7で、1~3月期実績より11.0ポイントの人手不足感が強まる予想となりました。業種別での今期実績対比は、建設業で23.9、サービス業で18.2、製造業で12.9、小売業で3.8ポイントの不足感が強い予想となりました。また、卸売業と不動産業では今期実績同様の人手不足予想となりました。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	53.2	46.8	33.9	66.1	11.9	66.1	11.9	10.1
卸売	55.6	44.4	33.3	66.7	11.1	77.8	11.1	0.0
建設	57.1	42.9	33.3	66.7	4.8	85.7	0.0	9.5
小売	34.6	65.4	19.2	80.8	11.5	50.0	15.4	23.1
サービス	81.8	18.2	54.5	45.5	18.2	45.5	27.3	9.1
製造	64.5	35.5	38.7	61.3	12.9	67.7	12.9	6.5
不動産	27.3	72.7	36.4	63.6	18.2	72.7	9.1	0.0

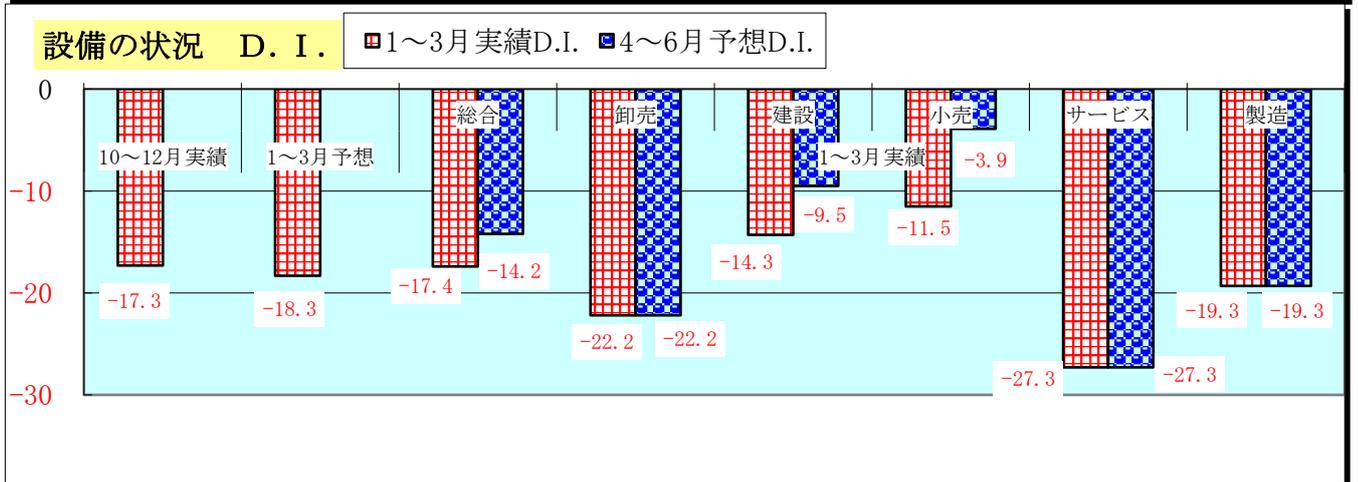
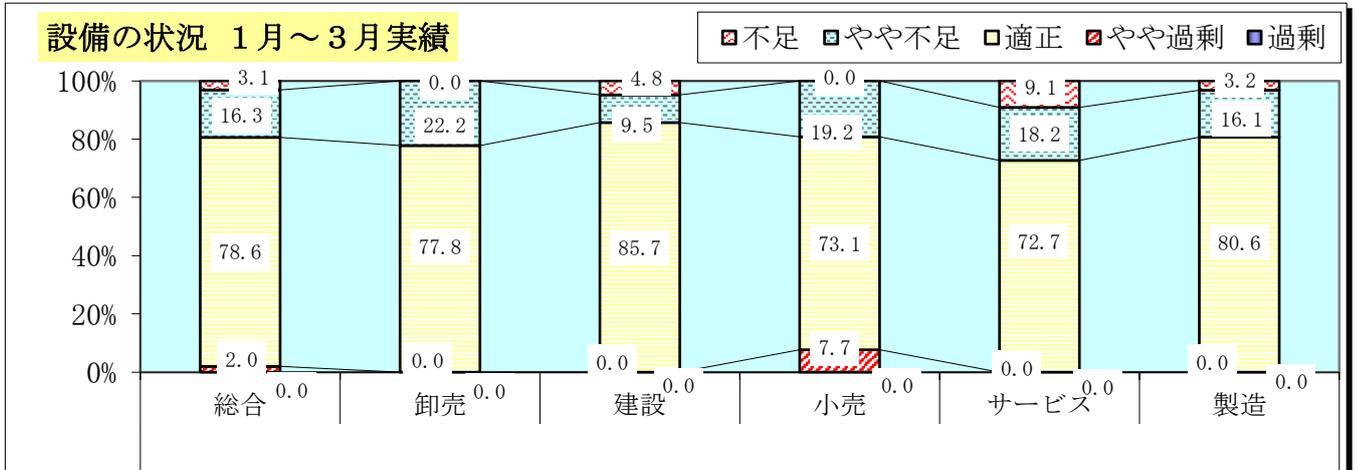


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の53.2%（前回借入実施率52.3%）となりました。業種別では、サービス業で81.8%、製造業で64.5%、建設業で57.1%、卸売業で55.6%、小売業で34.6%、不動産業で27.3%となりました。
- 今後の借入予定では、33.9%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、サービス業で54.5%、製造業で38.7%、不動産業で36.4%、卸売業・建設業共に33.3%、小売業で19.2%となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が66.1%（前回69.7%）、「容易」は11.9%（前回10.1%）、「難しい」は11.9%（前回8.3%）となりました。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							-17.3	
1～3月予想							-18.3	
1～3月実績	総合	0.0	2.0	78.6	16.3	3.1	-17.4	-14.2
	卸売	0.0	0.0	77.8	22.2	0.0	-22.2	-22.2
	建設	0.0	0.0	85.7	9.5	4.8	-14.3	-9.5
	小売	0.0	7.7	73.1	19.2	0.0	-11.5	-3.9
	サービス	0.0	0.0	72.7	18.2	9.1	-27.3	-27.3
	製造	0.0	0.0	80.6	16.1	3.2	-19.3	-19.3



- 今期の設備状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が2.0%、「不足」「やや不足」と回答している企業が19.4%で、今期D. I. は△17.4となりました。
- 今期の実績D. I. △17.4は、前期実績D. I. △17.3に対して0.1ポイントの不足を示しました。前回調査における今期予想D. I. △18.3に対しては0.9ポイントの不足改善となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で△27.3、卸売業で△22.2、製造業で△19.3、建設業で△14.3、小売業で△11.5ポイントと全ての業種で不足となりました。
- 4～6月期の予想D. I. は△14.2で、今期実績より3.2ポイント設備不足改善の予想となりました。業種別の今期実績対比は、小売業で7.6、建設業で4.8ポイントの不足改善の予想となり、他業種は今期実績同様の不足予想となりました。

## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	2	8	9	5	11	1	73
卸売	0	0	1	2	0	0	7
建設	0	5	4	2	8	0	10
小売	0	-	-	1	2	1	22
サービス	0	2	2	0	0	0	8
製造	2	1	2	0	1	0	26

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	1	8	9	2	10	3	74
卸売	0	0	1	1	0	0	8
建設	0	4	3	0	5	0	12
小売	0	-	-	0	2	1	23
サービス	0	1	1	0	1	1	8
製造	1	3	4	1	2	1	23

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ36件で前期の30件を6件上回りました。  
業種別内訳では、建設業19件、製造業6件、小売業・サービス業各4件、卸売業3件となっています。  
実施した設備内容は「車両」11件、「機械更改」9件、「機械新增設」8件、「事務機器」5件、「土地建物」2件、「その他」1件となっています。
- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した件数は延べ33件となっています。  
業種別内訳では建設業・製造業が各12件、サービス業が4件、小売業が3件、卸売業が2件の予定となっています。  
設備投資計画の内容を見ると、「車両」10件、「機械更改」9件、「機械新增設」8件、「その他」3件、「事務機器」2件、「土地建物」1件の予定となっています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）  
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	6	6	8	13	17	16	8	7	15	17	6	5	60	64	24.1	25.7
同業者間の競争激化	0	0	4	2	2	6	3	1	1	0	2	1	12	10	4.8	4.0
利幅の縮小	1	2	5	5	7	6	1	0	7	8	2	3	23	24	9.2	9.6
人件費の増加	0	0	5	4	3	1	4	3	2	1	0	1	14	10	5.6	4.0
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	1	0	1	3	7	11	0	0	9	14	3.6	5.6
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0.8	0.0
大手企業（大型店）との競争激化	1	1	0	1	2	2	0	1	0	1	0	1	3	7	1.2	2.8
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0	3	3	1.2	1.2
天候の不順	1	0	0	2	4	6	1	2	1	3	0	0	7	13	2.8	5.2
代金回収の悪化	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0.4	0.8
原材料高・材料価格の上昇	0	0	1	4	0	0	1	0	13	11	0	0	15	15	6.0	6.0
地場産業の衰退	1	1	1	1	6	3	1	1	3	4	0	0	12	10	4.8	4.0
集客力の低下	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4	1	1.6	0.4
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	3	3	5	1.2	2.0
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
人手不足	1	2	9	10	1	3	2	2	12	9	1	1	26	27	10.4	10.8
商圏人口の減少	0	0	0	0	7	10	2	0	0	0	0	0	9	10	3.6	4.0
取引先の減少	2	2	0	0	4	2	0	1	0	0	0	0	6	5	2.4	2.0
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	5	2	0	0	2	1	4	4	0	0	11	7	4.4	2.8
輸入製品（商品）との競争激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.4
問題なし	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	4	4	7	6	2.8	2.4
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
その他	1	0	2	0	4	1	1	1	2	2	2	1	12	5	4.8	2.0
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
仕入先からの値上り要請	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
下請けの確保難	0	0	4	7	0	0	0	0	1	0	0	0	5	7	2.0	2.8
合計	17	16	47	52	62	60	29	24	74	76	20	21	249	249	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」  
第2位～ 「人手不足」  
第3位～ 「利幅の縮小」

64 件  
27 件  
24 件

\*前期\*

第1位～ 「売上の停滞・減少」  
第2位～ 「人手不足」  
第3位～ 「利幅の縮小」

60 件  
26 件  
23 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
卸売業	売上の停滞・減少 6	利幅の縮小、人手不足、取引先の減少 2	大手企業との競争激化、地場産業の衰退 他 1
建設業	売上の停滞・減少 13	人手不足 10	下請けの確保難 7
小売業	売上の停滞・減少 16	商圏人口の減少 10	同業者間の競争激化、利幅の縮小、天候不順 6
サービス業	売上の停滞・減少 7	人件費の増加、工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化 3	天候不順、人手不足 2
製造業	売上の停滞・減少 17	工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化、原材料高・材料価格の上昇 11	人手不足 9

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）  
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	5	6	7	7	18	13	7	6	14	10	4	3	55	45	23.3	19.3
販路を広げる	5	6	8	7	0	0	3	4	17	18	2	3	35	38	14.8	16.3
情報力を強化する	2	1	10	7	0	0	0	0	8	6	3	4	23	18	9.7	7.7
人材を確保する	1	1	12	13	5	4	2	1	10	11	1	1	31	31	13.1	13.3
技術力を強化（高める）	0	0	7	6	0	0	3	2	0	0	0	0	10	8	4.2	3.4
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	0	0	7	8	3.0	3.4
機械化を推進する	0	0	0	0	0	2	1	0	3	3	0	0	4	5	1.7	2.1
パート化を図る	0	0	2	3	1	2	2	3	2	2	0	1	7	11	3.0	4.7
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	2	3	0	0	2	0	1	3	0	0	5	6	2.1	2.6
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	5	1	2.1	0.4
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0.8	0.9
新しい事業を始める	0	0	0	0	3	1	7	8	0	0	1	2	11	11	4.7	4.7
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	1.7	0.9
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0.4	0.4
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	7	4	3.0	1.7
特になし	2	2	0	0	1	4	0	0	1	3	5	5	9	14	3.8	6.0
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0.4	0.9
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0.8	0.4
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	2	5	0.8	2.1
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	0.8	1.7
営業時間を延長する	1	1	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	4	7	1.7	3.0
提携先を見つける	2	2	1	1	3	4	1	1	0	0	0	1	7	9	3.0	3.9
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
教育訓練を強化する	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0.8	0.0
合計	18	19	52	48	49	47	28	26	71	73	18	20	236	233	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 45 件  
 第2位～ 「販路を広げる」 38 件  
 第3位～ 「人材を確保する」 31 件

**\*前期\***  
 第1位～ 「経費を節減する」 55 件  
 第2位～ 「販路を広げる」 35 件  
 第3位～ 「人材を確保する」 31 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
卸 売 業	経費を節減する、 販路を広げる	6	特になし 提携先を見つける	2	情報力を強化する、人材を確保する、 営業時間を延長する	1
建 設 業	人材を確保する	13	経費を削減する、販路を広げる、 情報力を強化する	7	技術力を強化（高める）	6
小 売 業	経費を節減する	13	営業時間を延長する	6	人材を確保する、売れ筋商品を取扱う、 特になし、商店街事業を活性化させる、 提携先を見つける	4
サービ 業	新しい事業を始める	8	経費を節減する	6	販路を広げる	4
製 造 業	販路を広げる	18	人材を確保する	11	経費を節減する	10

# 特別調査

## 「新型コロナウイルス感染拡大長期化の影響と新常态（ニューノーマル）への対応について」

問 1 貴社における今期（1～3月）の売上は、新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1～3月と比較して、どの程度変化しましたか。次の1～8の中からお答えください。

	1. 90%以上の減少	2. 70%以上 90%未満の減少	3. 50%以上 70%未満の減少	4. 30%以上 50%未満の減少	5. 10%以上 30%未満の減少	6. ほぼ変化なし (10%未満の増減)	7. 10%以上 30%未満の増加	8. 30%以上の増加		
合計（構成比）	2.8%	8.3%	7.3%	17.4%	28.4%	30.3%	4.6%	0.9%		
総合	3	9	8	19	31	33	5	1		
卸売	0	0	1	1	5	2	0	0		
建設	0	0	1	1	4	13	2	0		
小売	1	2	1	7	9	4	1	1		
サービス	2	3	2	1	3	0	0	0		
製造	0	3	2	8	7	10	1	0		
不動産	0	1	1	1	3	4	1	0		

上記質問で、6.の「ほぼ変化なし（10%未満の増減）」が33先と一番多く、次いで5.の「10%以上30%未満の減少」は31先、4.の「30%以上50%未満の減少」が19先で上位の回答となった。以下2.が9先、3.が8先、7.が5先、1.が3先、8.が1先と続く。上位で6.については、建設業で13先、製造業で10先となった。5.については、小売業で9先、製造業で7先となった。4.については、製造業で8先、小売業で7先となった。

問 2 経済社会全体が新常态（ニューノーマル）へ移行していくなかで、貴社では、事業継続上の不安、心配、懸念はありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、不安、心配、懸念のない方は0とお答えください。

	1. 先行き不透明による計画策定困難化	2. 既存事業の需要減少	3. 取引先の経営不安定化	4. デジタル化、オンライン化への対応の遅れ	5. 雇用の確保、維持、継続	6. 感染拡大防止対策の負荷増大	7. 事業構造転換の必要性増大	8. 事業承継問題への悪影響	9. その他 ( )	0. 不安、心配、懸念ない
合計（構成比）	22.2%	22.2%	9.1%	5.1%	16.2%	9.1%	4.5%	2.0%	0.5%	9.1%
総合	44	44	18	10	32	18	9	4	1	18
卸売	7	3	1	0	0	1	1	0	0	2
建設	4	10	1	2	9	2	0	0	0	4
小売	10	11	6	4	3	2	4	1	1	5
サービス	8	6	0	0	5	4	1	0	0	0
製造	14	11	7	2	15	8	0	2	0	4
不動産	1	3	3	2	0	1	3	1	0	3

上記の質問で、1.の「先行き不透明による計画策定困難化」と2.の「既存事業の需要減少」が各44先と一番多く、次いで5.の「雇用の確保、維持、継続」が32先、3.の「取引先の経営不安定化」・6.の「感染拡大防止対策の負荷増大」・0.の「不安、心配、懸念ない」が各18先で上位の回答となった。以下、4.が10先、7.が9先、8.が4先、9.が1先と続く。1.については、製造業で14先、小売業で10先となった。2.については、小売業・製造業が各11先、建設業で10先となった。5.については、製造業で15先、建設業で9先となった。3.については、製造業で7先、小売業で6先となった。6.については、製造業で8先、サービス業で4先となった。

問 3 新常态（ニューノーマル）へ向けて、IT人材の重要性が高まる状況にあります。貴社のIT人材はどのような状況ですか。また、貴社でのIT活用はどのような効果を挙げていますか。最もあてはまるものを、それぞれ1～5、6～0の中から1つずつ選んでお答えください。

	IT人材の状況					IT活用の効果				
	1. 足りている	2. 足りていない (内部育成で対応)	3. 足りていない (外部人材採用で対応)	4. 足りていない (外部業者に委託で対応)	5. IT人材の必要性を感じていない	6. 売上の上昇	7. 効率化による経費節減	8. 顧客利便性の向上	9. IT活用に組み込んだが効果が出ていない	0. IT活用に組み込んでいない
合計（構成比）	20.2%	24.8%	0.9%	12.8%	41.3%	11.9%	21.1%	11.0%	3.7%	52.3%
総合	22	27	1	14	45	13	23	12	4	57
卸売	2	2	0	2	3	3	2	0	1	3
建設	3	8	0	1	9	1	7	1	2	10
小売	3	7	1	6	9	2	7	4	0	13
サービス	2	1	0	2	6	2	1	1	0	7
製造	8	6	0	2	15	5	2	4	0	20
不動産	4	3	0	1	3	0	4	2	1	4

上記の質問で「IT人材の状況」では、5.の「IT人材の必要性を感じない」が45先と一番多く、次いで2.の「足りていない(内部育成で対応)」が27先、1.の「足りている」が22先で上位の回答となった。

「IT活用の効果」では、0.の「IT活用に組み込んでいない」が57先と一番多く、次いで、7.の「効率化による経費節減」が23先、6.の「売上の上昇」が13先と上位の回答となった。

**問 4** 貴社では、新常态（ニューノーマル）へ向けて、どのような設備投資の意向がありますか。また、足下のコロナ禍は設備投資のスケジュールに影響を及ぼしていますか。最もあてはまるものを、それぞれ1～5、6～0の中から1つずつ選んでお答えください。

	設備投資の意向					スケジュールへの影響				
	1. 新製品・新サービス進出対応	2. 老朽化設備等の更新	3. 生産・販売能力増強	4. 合理化・省力化・IT化	5. 設備投資の意向はない	6. 当初予定通り実施	7. 計画を後ろ倒しして実施	8. 当初予定はなかったが補助金等の活用により実施	9. 予定はあったが、中止・凍結した	0. 当初から予定はなく、設備投資はしない
合計（構成比）	4.6%	25.7%	7.3%	11.0%	51.4%	16.5%	7.3%	9.2%	9.2%	57.8%
総合	5	28	8	12	56	18	8	10	10	63
卸売	1	2	1	1	4	1	2	0	2	4
建設	0	6	1	5	9	8	0	2	1	10
小売	2	5	2	2	15	4	0	4	2	16
サービス	1	3	0	2	5	2	1	1	2	5
製造	1	10	4	1	15	3	3	3	3	19
不動産	0	2	0	1	8	0	2	0	0	9

上記質問で、「設備投資の意向」では、5.の「設備投資の意向はない」が56先で一番多く、次いで、2.の「老朽化設備等の更新」が28先、4.の「合理化・省力化・IT化」が12先で上位の回答となった。以下、3.が8先、1.が5先と続く。

「スケジュールへの影響」では、0.の「当初から予定はなく、設備投資はしない」が63先と一番多く、次いで、6.の「当初予定通り実施」が18先、8.の「当初予定はなかったが補助金等の活用により実施」と9.の「予定はあったが、中止・凍結した」が各10先、7.の「計画を後ろ倒しして実施」が8先の回答となった。

**問 5** 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。該当するものを以下の1～9より最大3つまでお答え下さい。なお、特にないという方は0を選択下さい。

	1. 本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等）	2. 本業での新商品・サービスの展開	3. 本業の海外展開（生産・販売・調達等）	4. 副業（既存の別事業）の拡大	5. 新規事業への参入（多角化）	6. 本業の縮小	7. 副業（既存の別事業）の縮小	8. 業種転換	9. M&Aの活用等	0. 特にない
	合計（構成比）	24.6%	20.4%	2.8%	5.6%	5.6%	3.5%	0.7%	0.0%	1.4%
総合	35	29	4	8	8	5	1	0	2	50
卸売	6	3	1	2	1	0	0	0	0	3
建設	6	2	0	0	1	0	0	0	1	13
小売	6	9	1	3	1	2	0	0	1	10
サービス	3	3	0	0	0	1	0	0	0	4
製造	13	9	2	2	4	1	0	0	0	13
不動産	1	3	0	1	1	1	1	0	0	7

上記質問で、0.の「特にない」が50先で一番多く、次いで、1.の「本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等）」が35先、2.の「本業での新商品・サービスの展開」が29先と上位の回答となった。以下、4.と5.が各8先、6.が5先、3.が4先、9.が2先、7.が1先と続く。8.の「業種転換」との回答はなかった